JR東海労申第28号 2017年12月14日

東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 柘植 康英 殿

> JR東海労働組合 中央執行委員長 小林 光昭

東海道本線で発生した長時間運転見合わせに関する申し入れ

東海道本線で12月12日、9時間以上に及ぶ運転見合わせが発生した。マスコミ報道では、「パンタグラフの破損」「架線の破損」が原因とされている。この事象について以下の通り申し入れるので、労使協議の場において誠意をもって対応すること。

記

- 1. 運転見合わせから運転再開までの状況を時系列で、関係列車名、関係者等を含めて詳細に明らかにすること。
- 2. この事象による列車への影響、旅客への影響、設備損傷の詳細、沿線の施設や住民の方への被害の有無、等について明らかにすること.
- 3. この事象が発生した原因を詳細に明らかにすること。
- 4. 運転再開までに、9時間以上の時間を要した理由を明らかにすること。
- 5. 今後の対策について明らかにすること。

以上